

# スポーツ南陽 2025.3



一般社団法人 南陽市スポーツ協会広報誌

「スポーツ南陽」の電子データを南陽市民体育館ホームページに掲載しております。



## 南陽FC全国へ



南陽市を拠点に活動しているサッカースポーツ少年団の南陽FCが、去る2月2日に行われた東北ブロック大会において、予選から決勝まで全勝優勝という快挙を成し遂げ、3月1・2日に和歌山県で開催された全国大会に出場。U12嵐田監督にお話を伺いました。

**嵐田監督のコメント** 予選は、Jリーグジュニアの連合チームなど、ナショナルトレセンで活躍する選手が多く立ちはだかる厳しい試合でした。先制点を奪うなど健闘は見たものの、上位トーナメントへの進出は叶わず、グループリーク4位で下位トーナメントへ進むこととなりました。



## 日本フットサル施設連盟選手権U12全国大会

気持ちを切り替え、迎えた2日目。3戦全て順調に勝ち進み、下位トーナメント優勝、全国17位という結果で大会を終えました。

負けはしましたが本当に素晴らしい経験になりました。やはり全国の壁は高かったというのが、素直な感想ですが、全国のトッププレイヤーの前に、臆することなく立ち向かった選手たち。本当に素晴らしい戦いを見せてくれました。

全国大会に出場するにあたり、多くの皆様からご支援、ご協力を賜りましたこと、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



# 市スポ協 2024年度を 振り返る

一般社団法人南陽市スポーツ協会  
会長 中村 和彦



市民の皆様には、本年度も一年間を通し市スポーツ協会の事業に対し、参加協力を頂きまして厚く御礼申し上げます。

さて、今年度のスタートであります。思わぬ大火となった秋葉山の林野火災（5月4日～9日）により、現場との距離がさほど離れていない市民体育館の「閉館」に見舞われました（消火活動のための敷地利用等）。火災全体としては、大きな損害が生じた訳ではありませんが、体育館施設も含めて、人的被害や建物損壊が無かった事に胸を撫でおろしたところでありました。

林野火災が鎮火した後の5月11日に令和6年度の「総会」を開催致しました。

6月に入り本格的に活動が展開されたわけですが、【東南置賜スポ協連絡協議会】の地元開催や恒例事業として定着しつつある【健康ウォーキング】なども、準備にあたって頂いたスタッフ、そしてご参加頂いた参加者の皆様のお陰で無事に終了させて頂きました。

また、夏休み中のプール開設につきましては、気温上昇による「プール閉鎖」が今年度も何

日か生じてしまいました。また監視員の確保が年々困難になつて来ており、今後の検討課題となつていきます。

秋に入り、南陽市のスポーツメインイベントである【南陽さわやかワインマラソン大会開催】の準備を進めつつ、市体育祭の開会式、国スポ・少年少女交流大会の出場選手壮行式等も盛会に開催致しました。

10月スポーツの日には恒例の【南陽さわやかワインマラソン大会】を開催し、多くの方々のご協力のもと、近年の開催の中で一番の盛り上がりを見せた大会になったと感じています。年が明けて早々に【新春スポーツ懇談会】を開催致しました。今年度は趣向を少し変えながら、講演会、懇親会を企画し、マンネリ感をなくすための努力が功を奏したように思います。

事業として他にも幾つか開催した訳ではありますが、それぞれ成果を残せたかなと感じています。

今年の勢いを来年度に繋げて行きたいと思えます。令和7年度も市スポーツ協会を宜しくお願い致します。

## 南陽市における部活動改革の状況

南陽市部活動改革検討委員会 事務局

### 1 事業の目的

深刻な少子化傾向により存続が危ぶまれる部活動体制と、部活動指導に係る負担軽減が求められる教員の働き方改革への対応として、休日の部活動は行わない体制づくりが令和4年度に国・県から示されました。南陽市では、生徒にとつてより望ましいスポーツ文化芸術活動環境の構築に向けて部活動改革検討委員会（R4）は部活動地域移行検討委員会を設置し、その実践に取り組みでまいりました。

### 2 実施内容



- 1 モデル種目による実証事業（休日）に学校以外で活動できるスポーツ環境の提供
- 2 指導者研修会の開催
- 3 市民への部活動改革についての説明会
- 4 活動団体の紹介リーフレット作成

特に、①については、一定の条件を整

えた団体・クラブについては所定の手続きにより、当検討委員会・公認の活動として、活動に係る指導謝金と会場使用料を保証しながら、各種目の新たな場づくりを支援してまいりました。その結果として、現在市内には10種目（柔道、剣道、ソフトテニス、バレーボール、サッカー、野球、陸上競技、コンディショニング、カローリング、卓球）の活動を提供できる体制になりました。（ソフトボールと空手道が現在準備中です。）

### 3 今後の方向性と課題

種目によっては、中学生にとどまらず幼児から高校生世代まで参加者の幅が広められたり、すでに加入している部活動とは別の種目に参加したり、といった新たな活動形態も見られます。また、地元南陽高校との連携を図る試みや、各競技種目により相応しい指導者資格を取得される方も見られます。

- 1 指導者の確保
  - 2 活動場所の確保
  - 3 指導謝金と会場使用料
- などが、継続した課題と考えられるとともに、活動を進めながら生じる新たな課題解決に向けた創意工夫が期待される所です。



また、想定できる今後の方向としましては、

- 1 中学校を卒業した生徒たちの活動への係わり方
- 2 多種目に取組める体制づくり
- 3 参加者の適正な自己負担による持続性の確立
- 4 地域クラブ指導者としての資格有効期限設定と更新方法
- 5 多様な志向への対応

などが、より発展・充実した活動を支える鍵となると思われます。

より望ましいスポーツ環境の創出には、受皿を提供する側ばかりでなく、市や各学校が改めて部活動の意義やあり方を検討・確認することや、保護者の方には自身の経験に縛られずに部活動についての理解を深め、必要な活動支援に努めていただくこと、そして生徒の皆さんは休日の過ごし方について、しっかり自問自答し主体的に行動を選択することが、これまでに以上に欠かせなくなると考えられます。

# Challenger

## 挑戦者

この春、高校を卒業し新しい目標に向かって一步を踏み出す高橋琳さん。5歳でトランポリンを始め、小学5年生の時には都道府県抗トランポリン競技選手権大会で全国3位入賞を果たした。その後も高校1年生の時には東北総体で優勝し、とぎ国体の代表に選出されたりと、トランポリンに打ち込んだ13年間。引退した今の心境などをインタビューしました。



### トランポリンを始めたきっかけ

トランポリンを始めたのは5歳の時です。姉が最初にトランポリンをやっていて、送り迎えで何度か練習見に行っていました。そこで体験に誘われて跳んでみたのがきっかけです。初めて跳んだ時は、すごく楽しくてずっと跳んでいたのを覚えています。また、選手の方達がとても高く跳んでいるし、くるくる回っているを見て自分も高く跳んで回ってみたいと思いました。

### トランポリンの楽しさ・魅力はどんなところか

魅力としては、見ていても、跳んでいても楽しいところだと思います。高い跳躍の迫力や美しい演技など初めて見る人も楽しめますし、普段はできない体験ができとても楽しいです。

また、選手としては、大会で自分の精一杯の演技ができた時、技を磨いて成長できた時などが一番楽しいと思います。特に私は、新しい技に挑戦している時が楽しいと感じます。新しい技に挑戦することは、少し怖いですが、また何度も失敗しますが、だからこそ技が完成した時はすごく嬉しい気持ちになりますし面白いと感じます。



### トランポリンから学んだこと

トランポリンで学んだことは、挑戦すること、諦めないことです。なかなか上手く行かない時期があり辛いと感じてしまう時がありました。しかし、そこで逃げたのではなく、1から始めてみたり、できないところを動画を撮って今の演技はどうだったかな確認して繰り返し練習したりしました。何度も心が折れてしまいそうになりましたが、先生や仲間の支えがあり、最後まで諦めずに頑張ることができました。

### これからやってみたいこと

資格を取り、スポーツをやっている人はもちろん、高齢者や頑張っている方など様々な方の支えになるような仕事に就きたいです。そのために必死に勉強して柔道整復師、鍼灸師の資格を取れるようにがんばります。

### 後輩に向けて

新技などさまざまなことに挑戦し、レベルアップできるようにがんばってください。また、辛いこともあると思いますが、自分のペースで目標に向けて頑張してほしいと思います。応援しています。

最後は、現役を引退した現在、期待やプレッシャーといった重圧から解放され、新たな気持ちで将来の夢に向かって頑張りますと話してくれました。



# 高橋琳

#### Profile

- 出身校 / 沖郷中学校・東海大学山形高等学校
- 競技歴 / 13年
- 座右の銘 / 為せば成る

- 尊敬している人 / 母
- 好きなスポーツ選手 / 森ひかる選手(トランポリ)
- 趣味 / 読書
- 好きな食べ物 / パフェ

●総合建材センター

MUTUMI KOGYO CO.,LTD.

株式会社 睦興業

〒999-2232 山形県南陽市三間通24の4  
TEL 0238(43)3134・(43)2155 FAX 0238(40)3876

人のやさしさ、確かな技術



社会医療法人

公徳会

公徳会グループは、地域に根ざした健康と医療のトータルケアを目指します。

スポーツ用品全般・体育器具・施設

MS マルゼンスポーツ

- 宮内店 南陽高校通り TEL 47-2362
- 赤湯店 赤湯中学校前 TEL 43-3477

東京海上  
TOKIO MARINE  
NICHIDO  
日動火災

有限  
会社

本田保険事務所

代表取締役社長 本田 義

〒999-2262 山形県南陽市若狭郷屋50  
TEL 0238-50-0246(代)  
FAX 0238-50-0



Angel Group

エンジェルグループ 代表 佐藤 文

Lasting Peace

ラスティングピース グレース ディー

ラスティングピース: 南陽市赤湯720 プレイタウン1F TEL (0238) 40-3  
グ レ ー ス: 南陽市赤湯472-3 明月館ビル2F TEL (0238) 43-4  
デ ィ ー プ: 南陽市赤湯417-13 Sビル 2F TEL (0238) 49-8



株式  
会社

宮内印刷



宮内Office | 南陽市蒲生田1388-1 ☎0238-33-08  
つるのこOffice | 南陽市漆山1788 ☎070-3316-32

令和6年度は、企業・法人10社から多大なるご協力をいただきました。誠にありがとうございます。ご協力いただきました浄財は、スポーツ協会特別会計に計上させていただき、「市民一人1スポーツ」の推進、競技力・青少年スポーツ振興強化のため、各団体を通して支出させていただきました。

**生涯スポーツ振興事業費として  
 配分した団体 (4団体)**

- グラウンドゴルフ協会
- サッカー連盟
- トランポリン協会
- 空手道連盟

**競技力・青少年スポーツの強化事業費として配分した団体 (11団体)**

- トランポリン協会
- バレーボール連盟
- 剣道連盟
- グレー射撃協会
- サッカー連盟
- 空手道連盟
- バasketボール連盟
- カローリング協会
- 野球連盟
- グラウンドゴルフ協会
- ゲートボール協会

今後とも、スポーツ協会の目的遂行に向け、加盟団体とともに努力して参りますので、ご協力よろしくお願い致します。

**スポーツ協会を  
 支援してくださっている  
 企業・法人 (10社)**

- (有)本田保険事務所 / (株)睦興業 / 社会医療法人 公德会 / Osteria EST!  
 渡忠商店(株) / マルゼンスポーツ / ラスティングピース(エンジェルグループ)  
 カレーやぽんた / 加藤組(株) / (株)宮内印刷

応援いただいている方へ

**新春スポーツ講演会**

1月12日(日)

新春スポーツ講演会を、熊野大社證誠殿で開催いたしました。講師にはYAMAGATA EXPERIENCE代表の堀江守弘氏にお越しいただき、「地域の魅力をグローバルへ」と題してご講演いただきました。堀江氏は、自身が学生時代に没頭したスキーオリエンテーリング競技の経験や海外留学・海外遠征などで世界の自然を見てきた中で、日本の自然や山形の素晴らしさを再認識し、Uターン。現在は、県内各地でカヌーやスノートレッキングなどのツアーを実施するアウトドアガイドという新たな地域産業の確立を目指し、地域の魅力を発信しています。市内のスポーツ団体・教育関係者約100名が聴き入りました。



**事業報告**

**ヘキサスロン**

1月25日(土)

メインアリーナにて開催し、市内小学生34名にご参加いただきました。エアロケットやマルチハードル等を使用し、走る・跳ぶ・投げる動作を楽しく、遊び感覚で体験することができました。冬になり外で走り回って遊ぶことのできない子どもたちは、たくさん動き、汗をかき、学び、そして夢中になって取り組みました。将来を担う子どもたちの基礎運動能力向上に向けて充実した事業となりました。



- # スポーツを頑張る中・高校生、指導者の皆さんへ
- # スポーツ運動や体育を学んでみたいという皆さんへ
- # スポーツ指導に関わりたいたいという皆さんへ

**努力することは当然のこととして…**

南陽市民体育館 館長 堀江昭浩 JSPO 公認コーチ(陸上競技コーチ3)

イチローさんの米国野球殿堂入りを伝える新聞記事の中に次のような本人の言葉がありました。「そもそも野球がなければ、僕は何者かになれたのか、と考える。今日、特にそう思う。人との出会いと、あとは少しの運。努力することは当然として、この二つが大きく人生には影響するんだと改めて感じている。」(1月23日山形新聞)コメントとしては端っこの方になるのですが、「努力することは当然のこととして」という語に、頑張っただけの辛さや苦しみを感じてきたとする表現が印象的でした。



今では多くの日本人選手が活躍する米国大リーグ界ですが、イチローさんは自身の卓越した活躍により、その扉を大きく開いてくれました。彼の、打席に入る時の揺るぎないルーティーンや徹底した自己管理、継続したトレーニングとスキルアップを目指す取り組みなどはメディアを通して幾度となく紹介されています。相当の時間と労力を要し、身体を鍛え、プレイへの高い意欲と発想の鮮度を保つことは並大抵の努力ではできないと容易に想像できます。その行為を「当然のこととして」とさりりと述べているところに、頂点を極めたアスリートならではの別世界を感じました。大変なこと、辛いこともその受け止め方は本人次第、ということの一例でもあると思います。

どのスポーツ種目にも、基本と呼ばれる運動や動きが見られます。トレーニング段階が進んでも、面倒がらず苦と感じずに基本を丁寧に続けていくことの大切さを多くの指導者が口にします。基本に限らず、幼稚園児が、見たままのお遊戯を楽しく覚えていくように練習に励んでいければベストなのでしょうが…。

野球殿堂入りを決定する記者投票では満票には一票及ばず、ということも報じられました。「不完全なのがいい。不完全だからこそ、進もうとすることができるわけです。」とイチローさん。殿堂入りを認められた野球の技術、実績以上に、心構えにも頷かされます。

**館長コラム⑫**

ミニ・スポーツ  
 トレーニング理論